

～スピードスプレー(SS)をご使用のみなさまへ～

SSも、『一手間かけて 安心防除』

☆農薬の新たな残留基準制度(ポジティブリスト制度)が
平成18年5月29日から始まります。

SSで農薬散布を行う際には、樹木の状態や散布場所に合わせて適正な操作を行うとともに、アタッチメントを使用して、農薬の飛散の低減に心がけましょう。

「一手間」かけて、消費者のみなさん、周囲の農家のみなさん、そしてSSを使うあなたにとっても「安心な防除」を行いましょ。

ほ場の端などでは農薬の飛散低減に心がけましょ！！



そこで一工夫！
飛散減少、安心防除



樹木やほ場の状態にあわせて…

樹体にあわせた風量の調節！



外側のノズルをストップ！



ノズルの交換でもこんなに違う！



同風量でも、

慣行ノズル

飛散低減ノズル

遮風板を使うとより安心！



さらに…

新たな残留基準制度への対策の基本は・・・

☆ これまでどおり、農薬の使用基準を守ること

☆ 園地の周囲にも目を配り、農薬の飛散(ドリフト)低減に心がけること

1 まずは、地域の取組に積極的に参画し、連絡体制を作りましょう。

チェック！

- 農業者間での話し合いの場
- 地域単位での指導体制の確立

2 防除の前には、農薬の種類や散布量の検討を行いましょう。

チェック！

- できるだけ隣接する農作物にも登録のある農薬の選択
- 必要最小限の農薬散布量の把握(ムダな散布はもったいない！)

3 散布の時には、一工夫し、周辺農作物への飛散低減に心がけましょう。

チェック！

- 散布は風が弱いときに
- 樹体にあわせた風量の調節
- 飛散(ドリフト)低減ノズルへの交換
- 園地の端で外向き散布しない(ノズルのON・OFF)

4 散布の後にも、「安心」のための作業があります。

チェック！

- 次の安心防除に向けて、SSのタンクなどは洗浄徹底
- 農薬の使用状況はきちんと記帳

5 中長期的視野も含めた栽培面からの取組を検討しましょう。

チェック！

- 隣接ほ場への飛散防止用ネットの設置
- 散布しやすい樹形管理
- 飛散防止や防除効果を考えたほ場設計
- 品種構成の見直し

以上のチェックポイントを踏まえ
今後とも安心防除を行いましょう！



お問い合わせは、下記連絡先もしくはお近くの普及センターやJAへ

○農林水産省生産局果樹花き課(果樹生産班)
〒100-8950 東京都千代田区霞ヶ関1丁目2番1号

○日本園芸農業協同組合連合会
〒143-0001 大田区東海3-2-1
(大田市場事務棟7階)

TEL 03-3502-8111(内線 3619)

TEL 03-5492-5424

平成18年4月28日版